

18
FOR ADULT

MY TRUE SELF





カメラに向かって
自己紹介をお願いします

「鷲沢文香…大学生です」

趣味と特技を教えてください

「趣味は読書で特技は…
フェラチオでしょうか」

もって普通の特技で
お願いします(笑)

「すみません…
えっと…人に誇れるような
特技はないですね」

緊張しているようですね

「緊張していいですよ」

なぜAVに出演しようと思っただんですか？

「自分の正直な気持ち
思ったからです」

エッチが好きということですか？

「はい…大好きです♡」

大好きなんです(笑)
経験人数は何人くらいですか？

「えっと数えてないんですけど…
うーん…少なくとも五十人とは
したと思います」

本当にエッチが好き
なんですか(笑)

「ああ♡♡」

どうしてそんなにエッチが好きに
なったのか聞かせてもらえますか？

「人見知りを治したくて思い切って
『AV』に参加してみたいんですが…」

途中からは自分から腰を振ってたりしましたね

「今はW文香ちゃんエロすぎW」

「さっきまで処女だったのに感じすぎっしょWWW」

オナニーでは味わえない快感…

「だってセックス…んっ♡
こんな気持ちいいなんて…っ♡」

自分では制御できない男の人にイカされる快樂…

「大人しそうな顔してピッチの素質あるねWWW」

「ピッチなんて…んっ♡
ひどい…あっ♡はあん♡」

「自分で跨って腰振ったりチンポによがってる女が言っても説得力ないっつてW」

「おらいケっ！
処女のくせにチンポで突かれてイケツ!!!」

目の奥で火花が弾けるような絶頂…

「んっ♡イクっ…♡
またイッちゃう♡」

「あっ♡ああっ♡
イクら♡イクっ♡
イッちゃうらうら♡」



「かっぴりっぴりっ
中出しは最高♡♡」

女の悦びって
いうんでしょうか

「ふう…ふうう♡
はあ♡はあ♡はあ…♡」

「何発ヤツたっけ？
まあいいかWWW」

「おっ…おへえ♡」

「あっせつかく出した精液
吐き出しちゃダメでしょW」

「…ごめんなひゃい…」

「まだまだたっぷり中だし
出してあげるからね♡♡」

「ふう〜ヤツたヤツた♡」

「おっ♡おおう♡
はああああ♡♡」

「髪ボツサボサでひどい顔W
おじい文香ちゃん…っつ
聞こえてないかW」

完全にセックスの虜に
なっちゃいました

「おはよう
おはようみんなに連絡
するからよろしくね♡♡」



次の日から隠し撮りされていた
動画で脅されて犯される感じで…

「文香ちゃんのおっぱい
ちよー気持ちいいよ♡」

セックス漬けにされて
開発されましたね(笑)

「ほら文香ちゃんカメラに
向かって笑顔でピース」

「ピース♡」



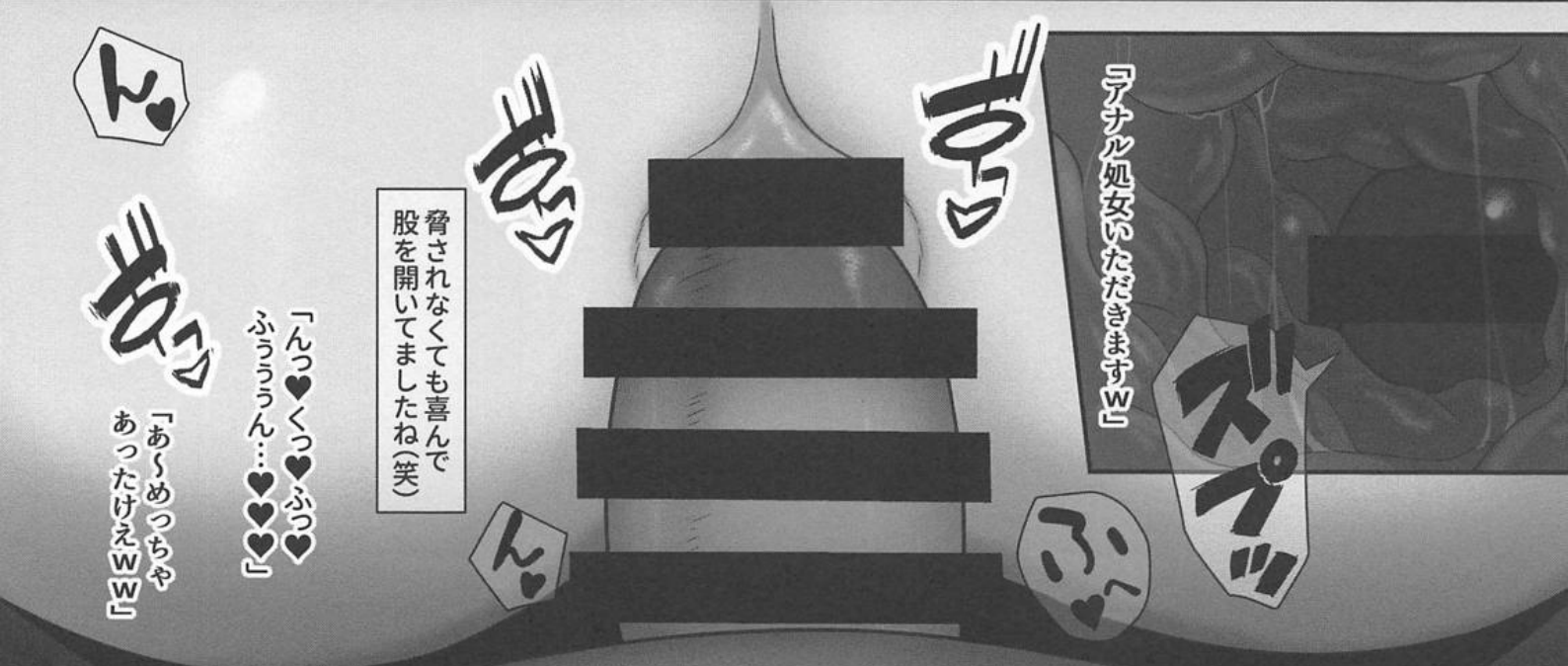
「だいぶアナルもほぐれてきたね♡」

「あ♡はっ♡はっ♡
はあああ♡ああん♡」

でもあの日の全身を駆け抜けるような
快感を思い出すだけで身体が疼いて…

ほらもうアナルパールが
腸液でデロデロになってるよW」

「さてとそれじゃ」



「アナル処女のたきますすW」

脅されなくても喜んで
股を開いてましたね(笑)

「ん♡くっ♡ふっ♡
ふうっ♡ん…♡♡♡♡」

「あゝめっちゃ
あったけえW」

アナル開発や目隠してエッチしたり：

「はー♡
はあー♡」

「ももとチンポに集中して
マシロで絞り取るように
腰をグラインドさせて」

「ぶー♡ぶー♡ぶー♡」

犬耳と尻尾をつけてワンちゃんみたいな
ポーズでおしっこさせられたり：

「んっ…ふっ♡
わふう♡」

「ほら犬めたいな
オシッコしーしー」

「わん♡」

「うはWめっちゃ出たW」

「くうん♡」

完全に調教されて
しまいましたね



彼からの命令はさらに
エスカレートしていつて――



ゴクリ



大学の旧講義棟の
人気のない男子トイレで…

「うっっっ♡」

援助交際したりしましたね

安くヤれるんでけっこう
人気あったんですよ(笑)

いろんな人とエッチなことが
できるっていうのは興奮しましたね

くほま…あ



「んっ」

「あーっ」
「あーっ」
「あーっ」

「んぐっ♡ヌブテニ♡
ヌスデニテニテニ♡」

「あーっ♡♡♡気持ち♡♡♡」

「あーっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
あーっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「文香ちゃんのパメラ
マジで最高♡♡」



「んっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

「あーっ出るっ
喉の奥に出すよっ!!」

「濃厚ザーメン
ごちそうさまでした♡」

「この肉感たまんねえ♥
チンポ擦り付けるだけなのに
気持ちよすぎだろッ」

「んっ♥んっ♥
もっご気持ちよみへ
してあげますね♥」

「太ももマンコでピロツピロツで
精液ぶちまけてください♥」

「っ…この締め付けヤバすぎる
やべっ…イキそう」

「あっ♥あっ♥あっ♥あっ♥」

「あー出るッ…
くっっ…」

「すごい量のザーメン…♥
壁が妊娠しちゃうそうなほど
いっぱい精液出ましたね♥」

「BのMONNET」

やっぱり学生が多かったんですけど
教授なんかもヤリに来たりしてましたね

「今日も私のアナルでいっぱい
射精していただくさいね教授♥」

「相変わらず鷹沢君の
ケツマンコは素晴らしいッ
チンポが蕩げそうだ…ッ!」

「んっ♥ふっ♥ふっ♥」

「んっ♥ふあっ♥はああ♥
オチンポでお腹の内側を
掻き回されるの気持ちいい♥」

「鷹沢君イクマッ!」
生徒のケツマンコに
中出しするぞ!」

「お腹の中に教授のアツい精液
いっぱい注ぎ込んでください♥」

「ぐっ…出るッ!」

「あっ♥ああっ♥
はああああんっ♥」

「ふう〜出た出た♥
それではまた来るよ
鷹沢君♥」

ビッチャー

あとは童貞さんの
筆下ろしとかもしましたね

「童貞オチンポ
すこく興奮してる♡」

ずりずり

「ああ…文香たん
早くマンコの中に…」

「それじゃ…
童貞オチンポ
いただきます♡」

「これがマンコ…
すこく気持ちいい♡」

「童貞卒業
おめでとう♡
じゃあお別れ♡」

あーん♡

「ぶひひ♡
文香タンで童貞を
捨てられるなんて♡」

「ゴクゴクマンコ
パンパン♪♪でちゅるる♡」

「ああッ
文香たんッ
文香たんッ
出る…出ちゃうよッ」

あーん♡

「ゴクゴクすよ♡
童貞ザーメン思う存分
吐き出しててください♡」

はぁん♡

あーん♡
あーん♡
あーん♡
あーん♡
あーん♡

「ぶひひ…
マンコ気持ちよすぎる♡」

鼻息荒くして一生懸命腰を
振るのが可愛くてキュンッて
なっちゃうました(笑)

ゴクゴクマンコ

「んっ♡
童貞の青臭くて濃厚な精液…
病み付きになっちゃうぞ♡」
でもそこに来るような人との
エッチじゃ心は満たせても
身体は満足できなくて…



そんなある日—

「おっキタキタ」

「え？」



「んっ♡ふっ♡んちゅ♡」

援助交際で稼いだお金を渡して、寝美に彼にエッチしてもらった日々でしたね



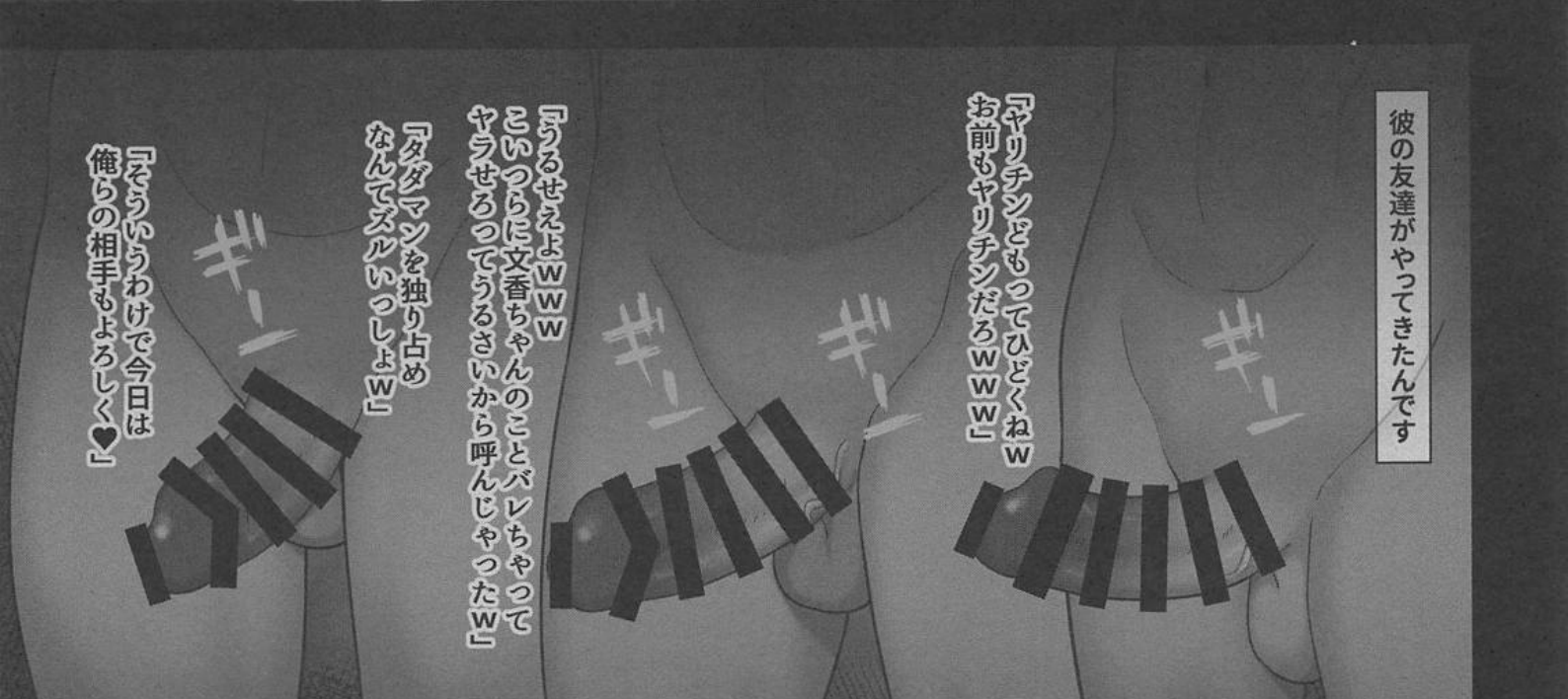
「俺のダチのヤリチンだろ」

「この人たちは…？」

「よろしくね♡」

「おっ♡
ヤッてる
ヤッてる」

「うーっす」



彼の友達がやってきたんです

「ヤリチンだもってひどくねW
お前もヤリチンだるWWW」

「ついでに文香ちゃんのことバレちゃって
やらせるってうるさいから呼んじやったW」
「タダマンを独り占め
なんてズルいっしょW」

「そりゃうわけで今日は
俺らの相手もよろしく♡」

複数の人とエッチするのは
最初は戸惑いましたね

「お♡
文香ちゃん
積極的だねえ♡」

「差し出されたチンポを
嬉しそうに舐めるなんて
どスケベなんだね♡」

恐怖心みたいなものも
あったんですが…

「そうなんです♡
エッチ大好きな
どスケベ女なんです♡」

「んっ♡んぶっ♡じゅぶ♡
じゅほっ♡じゅほっ♡
ずずちゅちゅっ♡♡♡」

「文香ちゃん俺のチンポも♡♡♡♡♡」

「ええ♡♡」

たくましいペニスに囲まれてると
すぐに興奮してしまっ(笑)

「両手にチンポ握りながら
喜んでチンポしゃぶるなんて
マジで真性のピッチだわ♡♡♡」



クローク

「あーやばーり
文香ちゃん口に出すよッー」

「ひょ
お前さんWWW」

「いやマジで文香ちゃんの
フミラテクやべえんだって」

ゴキョ

ゴキョ

「そりゃ俺がたっぷり調教して
あるから当然っしょWWW」



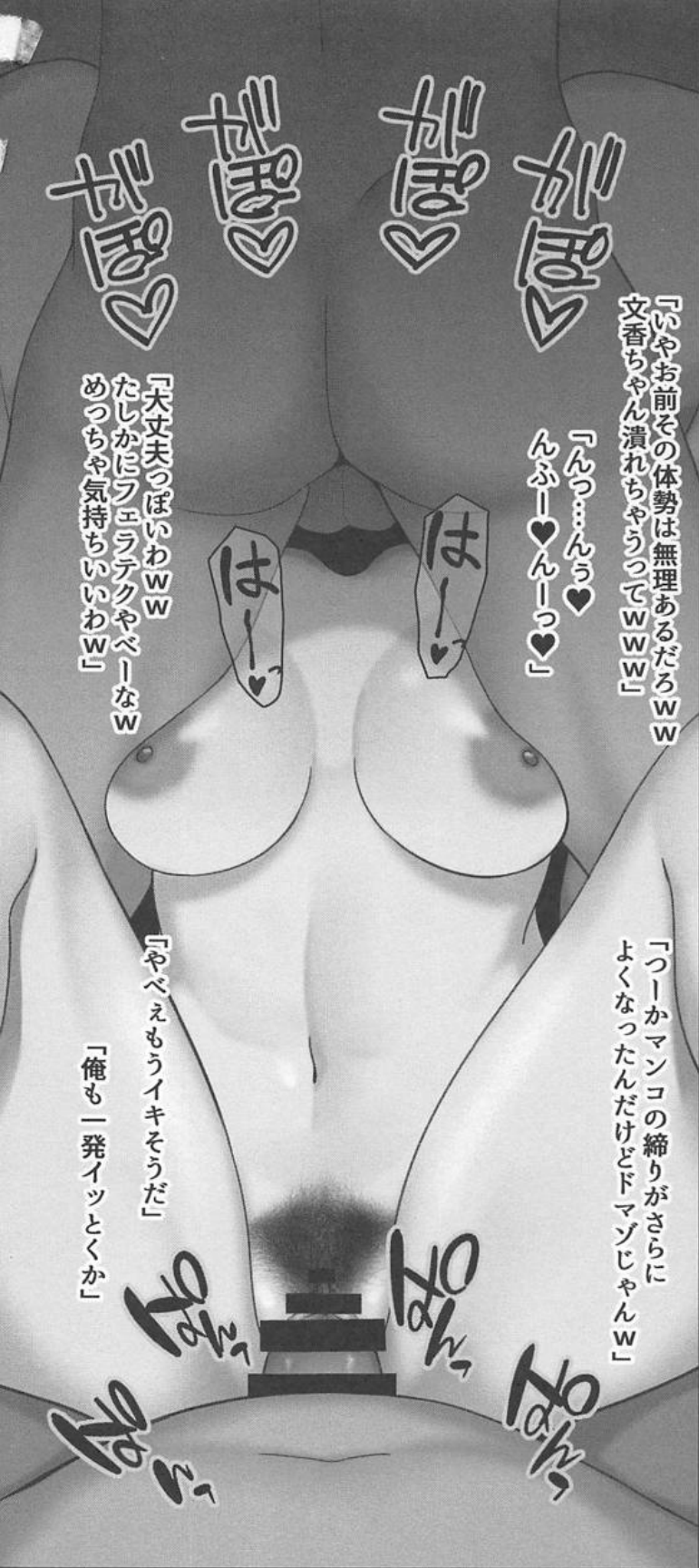
「さーて...
んじゃ俺がマンコ一番乗りな」

「あ、お前ズルいぞ」

「いやいや普通に
早い者勝ちっしょW」

「まあまあ落ち着けて
何回もヤルんだからいいだろ」

「どうなるんだろっつていう期待で
すくくドキドキしましたね」



「いやお前その体勢は無理あるだろWW
文香ちゃん潰れちゃうってWWW」

「んっ…んっ♡
んふー♡んー♡」

「っーかマンコの締りがさらに
よくなったんだけどドマンじゃんW」

「大丈夫っぽいわWW
たしかにフェラテクやペーなW
めっちゃ気持ちいいわW」

「やべえもうイキそうだ」

「俺も一発イツとくか」



「おっ♡
マンコの具合
いい感じだわW」

犯される快感…というんでしょうか

「それじゃ俺のチンポは
回で気持ちよくしてもらうかな」

なんだか男の人達に犯されている
自分にも興奮してしまつて(笑)



「文香ちゃんの顔やべーけど大丈夫か？」

「むしろなんか
イッてるぽいWWW」

「あれでイクってとんだだけだよW
心配して損したわWWW」



「ほろろ喜びえ気持ちいいわ♡」

「めっちゃ精液出たWWW」

あつという間にイッてしまいました

「てか早くとかないと
文香ちゃんがやばいべWWW」



「んじや次は俺がハメる番ね♡
ほら文香ちゃんケツ上げて♡」

「♡♡♡♡♡」

その後も代る代る犯されて
いつまでも続く快感に絶頂の
連続でしたね

獣みたいにイキ狂う
感じというか…

「うっ…すげえ締め付けW」

「オチンポ…オチンポお♡」

「文香ちゃんどんだけチンポが好きなんだよWW」

「お♡お♡お♡お♡」

「ああ♡あ♡お♡オチンポ気持ちいいれしゅ♡」

「文香ちゃんのマンコも気持ちよすぎっ!!」

「イク…イツちやいます♡」

「俺も限界…っ文香ちゃんの中に出すよ!」

「は♡は♡…はああん♡オマンにサーメンいっぱい注いでくだひゃいっ♡」

「サーメンきたあ♡」

「サーメンも出たわWWマンコマンコもはすぎWW」

「ピッチでマンコも名器とか男とヤルために生まれてきたみたいなものだなW」

「文香ちゃん今度は俺が入れるね♥」

あーっ、おーっ

「はっ♥あっ♥んんっ♥」

「オマンコはど気持ちよくしてあげるね♥」

「あーっ♥あーっ♥」

ズッ

「おっ♥おおうっ♥ ナカそんなにグリグリされたりやオマンコ壊れりゅ♥」

「おっ♥おおうっ♥ ナカそんなにグリグリされたりやオマンコ壊れりゅ♥」

フォッ

フォッ

フォッ

「ヤズれ♥
ああ♥んんっ♥
んんっ♥んんっ♥」

「んんっ♥んんっ♥んんっ♥」

んん

「おっ♥おっ♥おっ♥
おっ♥おっ♥おっ♥
おっ♥おっ♥おっ♥」

「あちゃー…イキすぎてだいが頭のネジ緩んじやったみたいw」

おほ

「んじや次は俺が挿れるかな」

「お前鬼畜かよwww」

「まっへえ…これ以上はらめえ頭おかしくなりぬ♥」

はあ

「ごっくにセックス狂いの下淫乱女なんだから問題ないだろwww」

「ケツ穴空いてるけど誰かハメる？」

「そんじや俺ハメるわ」

「さすがに二本はキツツいな」

「あっ♡あひっ♡
おおおお♡♡♡♡」

「頭のネジ飛んでまともに姿勢保てないのに
チンポだけは離さないとかヤバすぎWWW」

あっ♡

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

あっ♡

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

ドクドク
ドクドク

あっ♡

「オラオラッ！
二穴突かれてイケッ！
このド淫乱肉便器がツ！！」

「またイツひやう♡
イツひやうのおお♡♡」

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

「その後は大学をサボって寝て起きたらセックスしてご飯を食べたらセックスして…という生活を数日しました(笑)」

「しばらくは精液の臭いが身体から漂っていたと思います(笑)」

ものすごい体験談ですね

「あっすみません…
お話をきいてしまいました」

いえいえ大丈夫ですよ(笑)
そういう経験があってAV女優になろうと思ったんですね

「AVに出演すれば満足するエッチができるかもしれないって思ったのでそれが職になれば最高だなって思った」

満足してもらえようつにばっちり男優は揃えておきました(笑)
まだ緊張していますか？

「話していたら緊張も解けて今は撮影が楽しみです♡」

さすがですね(笑)
ではそろそろ本格的な撮影に移りましょうか

♡♡♡

「今日は大勢の男の人と一晩中セックスしたいと思います♥」

「嬉しいチンポがいっぱい…♥
もうこれだけでオマンコが
疼いてきちゃいます♥♥♥」

「朝までたくさんさんのチンポで犯される
私の痴態たっぷり見てください♥」





MY TRUE SELF

